

助成金の支給対象が有期雇用労働者の場合 雇用契約が「自動更新」であることが必要です

- ☑ 「特定求職者雇用開発助成金」の支給対象者が有期雇用契約の労働者の場合、**対象労働者が望む限り更新できる「自動更新」**であることが必要です。
- ☑ 自動更新の確認は、雇用契約書により行うため、**雇用契約書に「自動更新」である旨が記載されている**ことが必要です。

助成対象の判断基準

① 雇用契約書による判断

雇用契約書に記載されている内容により判断します。

※審査にあたって、対象労働者本人に雇用契約の実態等について聞き取りを行う場合があります。

② 就業規則等による判断

雇用契約書に自動更新と記載されている場合であっても、本人の体調、勤務実績、業績等、**更新の有無を判断する更新条件が付されている場合は助成対象となりません。**

ただし、**当該更新条件が、就業規則等に定める解雇事由であれば助成対象となります。**

有期労働契約を更新する場合の基準

2024年4月1日～

- **2024年4月から**改正職業安定法施行規則が施行され、求職者に対して明示しなければならない労働条件に「**有期労働契約を更新する場合の基準**（通算契約期間または更新回数の上限を含む）」が追加されます。
- 特定求職者雇用開発助成金における「有期労働契約を更新する場合の基準」の記載について
 - 「自動更新」とされている場合
→ **助成対象となります。**
 - 「勤務成績、態度により判断する」「会社の経営状況により判断する」等とされている場合
→ 本助成金の対象者として紹介を受けた場合であっても、**助成対象とならない場合があります。**

※助成対象となるか否かは、上記の基準により判断しますのでご注意ください。